

(3) 先輩教師の講話会報告

平成最後となる「先輩教師の講話会&交流会」が4月20日(土)に開催された。この会は、平成元年度に開学した本学が最初の卒業生を出した翌年からスタートし、今回で27回を数えることとなった。会には、本学を卒業された先生方14名が参加され、学生たちに様々なお話をしていただいた。80名を超える学生たちにとって、教育現場で日々奮闘されている先生方の率直なお話をうかがうことができ、とても素晴らしい時間となった。

前半の講話会(10時~11時30分、第1教育棟1101教室)では、宇賀神宏泰先生(栃木市立東陽中学校)、諏訪佳恵先生(栃木県立真岡北陵高等学校)、日向理人先生(茨城県立鬼怒商業高等学校)、鈴木奈緒先生(福島県立相馬特別支援学校)、大山晃先生(栃木県総合教育センター)にご講話を頂いた。講話では、教育実習についての諸注意、教師という職業の魅力、教員採用試験に向けての勉強の仕方、私立学校への就職、茨城県の教員採用状況など、多岐にわたる事柄についてお話しいただいた。



後半の交流会(11時40分~13時40分、学生福祉棟)では、講話会でお話しいただいた5名の先生方に加え、有田貴浩先生(古河市立古河第二中学校)、小林絵梨香先生(矢板市立片岡小学校)、笹島司先生(茨城県立古河第一高等学校)、藤榮有加先生(宇都宮市立河内中学校)、高瀬奈々美先生(宇都宮工業高等学校)、半澤武彦先生(帝京安積高等学校)、大木涼先生(宇都宮市立海道小学校)、土屋恵太先生(宇都宮市立鬼怒中学校)、馬場美樹先生(宇都宮市立峰小学校)に参加いただき、軽食をとりながら、学生たちとざっくばらんにお話しいただいた。



学生たちからは、「負担の授業では学べないことも多く学ぶことができました。教師は大変なことも多いが、やりがいも多いと分かりました。自分も教師を目指すために頑張りたいという気持ちが強くなりました。」(1年生女子)、「先輩方がやりがいを持って働いていることが伝わってきて勉強になりました。『苦労した分、返ってくる職業』、『今しかない子供たちとの時間を大切に、何でも受け止めてくれた大人がいたという経験がその子の力になる』という言葉がとても印象に残りました。」(3年生女子)など、様々な意見が寄せられ、実に有意義な時間となった。